

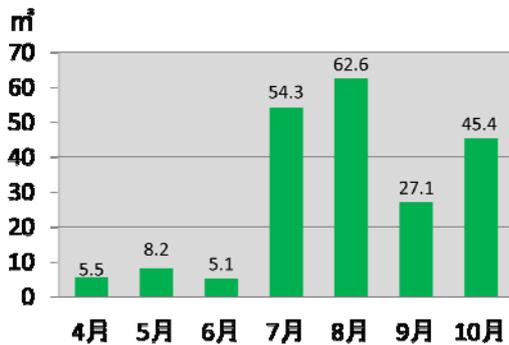


平成26年10月22日  
国土交通省中部地方整備局  
名古屋港湾事務所

## 年々大型化する台風に対し 伊勢湾における航行船舶の安全を守るため ～海洋環境整備船「白龍」の活動報告(台風時期を終えて)～

近年大型化する台風の増加に伴い、一度に大量の流木等が伊勢湾内に流出する傾向が強まっており、海岸に漂着する前にすみやかに回収するため、海洋環境整備船「白龍」(中部地方整備局名古屋港湾事務所所属)は台風通過後には早朝より出動し、海面浮遊物の回収作業を行っています。

同船による回収作業では、平成26年度4月～10月中旬の期間で200m<sup>3</sup>を超える流木・草木等の浮遊物を回収しました。



平成26年4月～10月中旬回収量 (10月17日現在)

	4月	5月	6月	7月
回収量	5.5m <sup>3</sup>	8.2m <sup>3</sup>	5.1m <sup>3</sup>	54.3m <sup>3</sup>
	8月	9月	10月	計
回収量	62.6m <sup>3</sup>	27.1m <sup>3</sup>	45.4m <sup>3</sup>	208.2m <sup>3</sup>

今年は大型の台風が東海地方へ4回来襲しましたが、それぞれの台風通過後には大量の浮遊物を回収し伊勢湾の海洋環境保全と航行船舶の安全保持に貢献しました。

台風	回収期間	回収量	主な回収場所	主な回収物
8号	7月11日～7月16日	約47m <sup>3</sup>	木曾川河口	流木、草木等
11号	8月11日～8月12日	約62m <sup>3</sup>	中部国際空港沖	流木、草木等
18号	10月7日～10月8日	約20m <sup>3</sup>	松阪港沖	草木、木片等
19号	10月14日～10月15日	約25m <sup>3</sup>	豊浜港沖	草木、木片等

配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、  
港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 下田(しもだ)

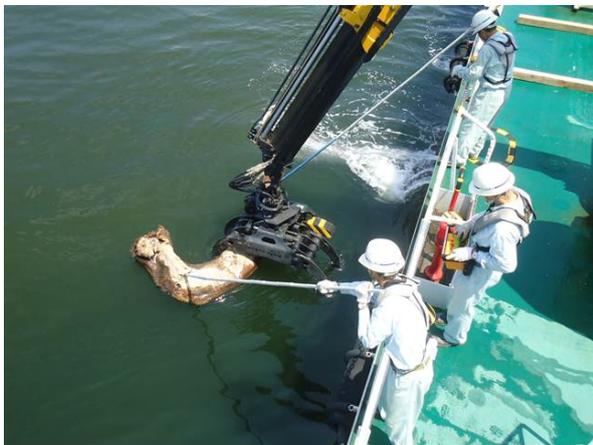
Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801



流木等の漂流状況



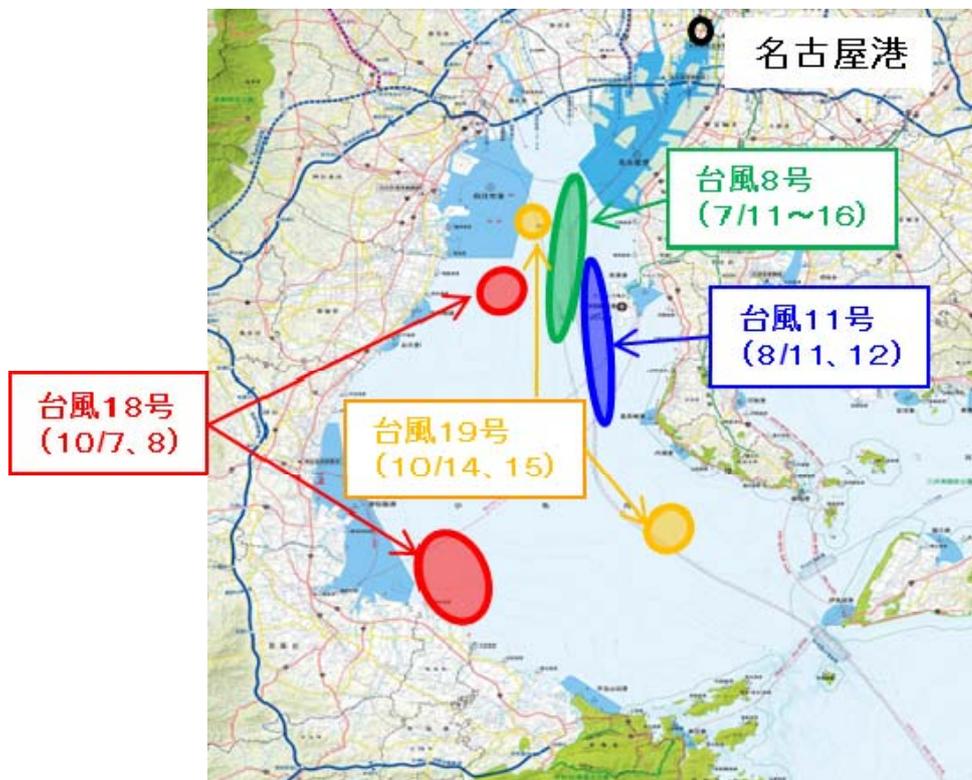
流木回収状況



流木回収状況



回収した漂流物



台風通過後の回収場所

# 海洋環境整備船「白龍」の概要

## 「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業。
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業。
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。

担務海域



## 「白龍」の諸元

- 所属  
中部地方整備局  
名古屋港湾事務所
- 基地港  
名古屋港 四号地岸壁
- 全長、全幅、総トン数  
33.5m、11.6m、198t
- 最大速力  
15.1kt (約28km/h)
- 担務海域  
伊勢湾・三河湾 (1,800km<sup>2</sup>)  
(港湾区域及び漁港区域  
等の指定区域を除く)



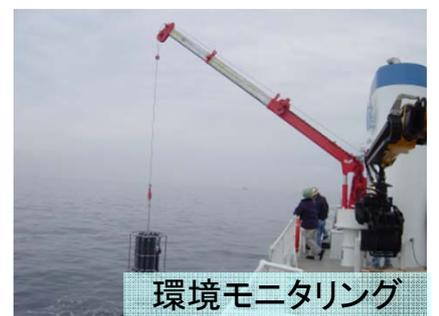
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング

## 東日本大震災における災害 支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

- 海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。
- 漂流物回収量【239.1m<sup>3</sup>】



回収ゴミの陸揚げ